

**各大学における ESD への取組み状況とユネスコスクール等に対して
提供可能な支援措置に関するアンケート調査 回答票**

学校名 石川県立大学

ホームページ : <http://www.ishikawa-pu.ac.jp/>

担当者

(職名) 総務管理係長

(氏名) 白藤 栄一

(連絡先) E-mail : shira@ishikawa-pu.ac.jp

電話/Fax : 076-227-7405/076-227-7410

(注) 本調査を補完するような資料がある場合には、必要に応じ添付して下さるようお願いいたします。

1. 各機関における既存の活動

(1) ESDに関連する学内教育活動について、講義名、対象学生の種別等をご記入ください。

番号	講義名	担当教員名	概要			
1	生物資源環境学概論	鈴木正一ほか	人と自然の共生・共存	必修2単位	学部	139人
2	環境倫理学	三宅克英	環境問題の目標・理念	選択必修2	学部	110人
3	廃棄物・資源循環論	三宅克英ほか	持続可能な社会の構築	選択必修2	学部	48人
4	産業資源作物学	坂本知昭	環境修復作物・石油代替資源	選択必修2	学部	44人
5	生物資源環境学特論II	青山咸康ほか	環境の立場から見た共生・共存へのアプローチ	選択必修2	大学院	4人
6	環境科学演習IV	柳井靖治ほか	人と自然が共生した持続可能な地域社会	選択必修4	大学院	3人
7	地域農業農村演習	福岡信之ほか	農林漁村の実態を体験・学習	選択必修1	学部	39人
8	水環境学	早瀬吉雄ほか	河川の自浄作用の検討	選択必修2	学部	35人
9	大気環境学	皆已幸也	地球大気の現状と歴史	選択必修2	学部	22人
10	農地環境工学	瀧本裕士	農地が地域保全に与える役割について	選択必修2	学部	46人
11	地域環境計画学	山下良平	豊かで美しい自然環境の保全・創出を計画	選択必修2	学部	46人
12	環境科学フィールド体験実習	青山咸康ほか	地域の実際の環境問題について観察・体験	選択必修2	学部	35人
13	環境分析学特論	岡崎正規ほか	農林水産地域環境の現状を分析、解析	選択必修2	大学院	3人
	その他多数 シラバス					

	参照					
--	----	--	--	--	--	--

（注）概要欄には、講義のESDとのかかわり、認定単位数、修了要件への該当、受講者の種別、受講者数等を記載する。

(2) ESDに関連する研究活動について、ご記入ください。

小松市滝ヶ原地区をモデルとした里山地区活性化プロジェクト

(環境科学科 田中准教授ほか、H24学科等が企画するプロジェクト研究)

(3) ESDに関連する地域貢献活動について、ご記入ください。

① 初等中等教育へのESD教育支援活動が行われている場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

・ 出前授業等の教員・学生による専門的知見の提供があれば記述してください。

対象（高校、中学校、小学校、幼稚園・保育園、その他）

親子農場観察会

石川県立大学附属農場での農作業体験

・ 小中学校等の学校と共同で学生が実施する活動があれば記述してください。

（例えば街路のゴミ拾い等）

・ ESD推進に資する教材開発があれば記述してください。

開発された教材：

・ ESDを選択できるような社会人向け（大学院）コースはありますか？

ある場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

本学大学院の教育理念が「『共生・共存の理』を明らかにする。」であるので、人類の安定した存続、持続的社会を構築することを目的としており、すべての研究領域においてESDを選択できると考える。

- ・ ESDを対象とする教員免許状更新講習科目があれば記述してください。

「食料生産の現状と課題」	}	内容は別紙のとおり
「農業と環境」		

- ② ESD分野でのその他の地域貢献活動はされていますか？

例：公民館や博物館等との連携活動

2. 上記以外で今後、各機関が提供できるESD分野のサービス

- ・ 専門的知見の提供・教員への助言（例えば防災教育、国際理解教育等）
- ・ 出前授業
- ・ 教材の提供
- ・ （〇〇分野の）カリキュラムの共同開発 等

上記のようなサービスを提供されている場合、具体的に記述してください。

以下の2つの方法でアクセスできる

- ・ HPを通じて、教員に直接、間接に依頼し、個別に相談する。
- ・ 産学、地域交流のための「研究シーズ集」を発刊している。

3. 各機関におけるESDの持続性を支援するための体制

- ・例えば教員研修（FD）、職員研修（SD）を活用した学内におけるESDの周知方策

4. ESD分野での他大学との連携

5. その他の関連活動

アンケートへのご協力大変有難うございました。

平成 25 年度 教員免許状更新講習 許可内容 石川県立大学
(平成 25 年 2 月 19 日 24 文科初第 1195 号)

講習の名称	講習の概要	時間数	講習の期間	対象 職種	主な 受講対象者	受入 人数
食料生産の 現状と課題	以下に示す、最新の研究成果を交えた 4 課題を講述する。 ① 地球温暖化の進行による農作物の高温障害について、その発生機構をダイコンとキンジソウを例に解説する。 ② 数種の根菜類について、来歴、育種、採種、栽培、生態的特性と作型分化や有害成分を減らすための栽培法を解説する。 ③ 果実の成熟に伴って起こる二次代謝物の蓄積について、その背景となる生理学的、遺伝学的特性を解説する。 ④ 水稻生産が温暖化により受ける影響を概説し、その対策としてとり得る栽培学的、育種学的方策を解説する。	6 時間	平成 25 年 8 月 26 日	教諭	高校教諭、 農業、理科	20 人
農業と環境	以下に示す、最新の研究成果を交えた 4 課題を講述する。 ① 農作物作物中のカドミウムと人体への影響について講述する。 ② 自然災害と防災教育をテーマとし地形図などを使いながら、災害予知のための地形判読、ハザードマップの作成法について講述。 ③ 土壌の密度、間隙率など物理的な性質と保水性、透水性など農業や環境と関わりのある特性について講述。 ④ 石川県農業農村の維持発展に向けた地域計画の基礎となる住民の社会・環境評価構造の把握を講述。	6 時間	平成 25 年 8 月 27 日	教諭	高校教諭、 農業、理科	20 人
食の化学	本講習では、抗酸化や血圧降下などを示す食品の機能とその成分、食品腐敗あるいは食中毒に対応する食品衛生と手法、および日本古来の伝統食品である発酵食品などに関する最近の話題を中心に講義を行うとともに、エライザ法を使用した食品中のアレルギー物質の検査および抗酸化能の測定に関する実験を行う。	6 時間	平成 25 年 8 月 28 日	教諭	高校教諭、 農業、理科	20 人

3 月 18 日（月）から、受講者募集開始予定。（本学 HP に受講申請書等掲載）